

令和5年度 京都市立西陵中学校 学校教育目標・経営方針

学校教育目標

« 正しく 仲よく 遅しく »

基盤的な学力と自ら律する力を備え、未来を拓く

目指す生徒像

- 基盤的な学力を身につけ、主体的に学ぶことができる
- 自らの生活をよりよくするため、正しい判断ができる
- 多様な価値観を認め合い、自他を大切にできる

育成する資質・能力

- 課題設定力…自らの課題に気づくことができる
- 問題解決力…解決の方法や手段を計画的に取り組み、問題を解決する
- コミュニケーション力… 他者との違いを理解し、他者を尊重(リスペクト)する
- 粘り強さと折れない力…課題の粘り強く取組、困難なことに出会ったときに折れない
- 主体性…自分の意志や判断によって責任をもって行動する姿勢

目指す教職員像

- 生徒一人一人を徹底的に大切にして指導・支援を行う
- 職責を自覚し、自己の資質・指導力の向上に努める
- 教育活動の質の向上を図り、生徒や地域の状況に応じた取組を展開する

目指す学校像

- 「みんなが行きたい学校」楽しく・魅力ある学校
- 自己肯定感を高め、主体的に学ぶ学校
- 信頼のある学校

学校経営方針

- 「授業改革」と「授業と連動した家庭学習の習慣化」を推進し、基盤的な学力を全ての生徒に習得させる。
- カリキュラム・マネジメントの視点をもって生徒や地域の状況に応じた取組を展開し、総合的な学習を軸として、生徒の自ら律する力を高める。
- 風通しのよい職場づくりと教職員の資質・指導力の向上・働き方改革を進め、より一層の教育の質の向上を図る。

重点目標

(1)予測困難な時代を切り拓くための資質能力の育成

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める。

ICTを適切に組み合わせ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する。

パフォーマンス課題などを取り入れた授業改革

グローバル化の時代を生き抜く英語教育

- 授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣を図る。

- 総合的な学習の時間と道徳の時間の充実

・SDGsをキーワードに課題の設定→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現

・自ら律する力を育てる道徳の時間 主体性を育てる

(2)一人一人を徹底的に大切にし、すべての生徒の社会で生き抜く力の育成

(3)令和7年度小中一貫校開校に向けて準備を進める。

(4)教職員の働き方改革の推進